JKP TIMES

2017年 春号

JKPクラッシック必勝法？

試合で勝つための心構えと技術
情報を学ぶ最高の機会を活かせ

第一回東京

育成セミナー開催！

日本一５連覇今井先生が指導

「昨年末まで行われていた強化育成を終了してまで、今回の育成セミナーへとリニューアルしたのには非常に大きな理由がありました。」JKP担当事務局の梶井さんはそう話した。当日も司会進行をこなしながらセミナーを仕切る彼女の姿は凛としていた。「強化育成を運営している中で我々が本来目指していたものとのギャップが大きくなり、であれば一旦軌道修正をして、新たなテーマを設定して賛同いただける方々に集まっていただきたいという結論に至りました。育成セミナーのテーマは世界、日本の最高峰の講師陣を迎え、競技空手のトップの技術と思考に触れる機会を提供するというものです。通常のクラスにおいては礼儀作法などのルールやマナーを身につけていただくことに重きを置いた教育的な空手道を指導するように講師共々努めています。しかし今回のような

競技での頂点を目指していきたいという生徒や保護者の方々へ、競技空手の世界で実績のある最高の指導者や選手にと直に接する機会を設けることで非日常の刺激を与えたい。という思いです。空手の世界では２０２０年の東京オリンピック参加を前に大きく変化しています。ジュニアオリンピックにも参加が認められ益々盛り上がって行くことでしょう。もし本気で頂点を目指そうとするならばより早い段階で最新で最高の環境がどの様なものかを知り、そこに身を置く、もしくは体験する、見学するなどするはず。見るだけでも意識が変わること間違いありませんし、参加者の皆さんの人生に大きな影響をあたえると言っても過言ではないと思います。通常の指導に当たる講師も研修として参加していきます。」梶井さんの目が優しく輝いていた。

JKF
オリンピックを成功させよう！
ATE OLYMPICS FOREVER

JAPAN

JKF
JAPAN

育成セミナーについて今井謙一先生からみなさんへのメッセージ！

ジュニア日本代表監督

今井謙一 先生

（大阪浪速高校教諭）

常勝請負人の呼び声高い今井謙一先生が語る勝つための方程式

「２０２０年の東京オリンピックの参加種目として空手道競技が参加したことは知っていますか？はい、みんな知っているますね。ではユースオリンピークの種目になったことを知っている人手を挙げて！あまり知っている人少ないね

そう、空手でも何でも色々な情報を素早く入手して知っているということは大切です。みんなと同じか少し大きい人たちが、そこに向けてスタートしています。早く準備した人と、取り組みが遅くなった人では自ずと結果が変わって

くるよね。だから常日頃から自分が何かを目標にして努力する時には、しっかり正しい情報を集めて計画を立てて行動することが大切です。そういう意味でも今回のセミナーでは今世界の空手がどのような事になっているのか、そこに向けて進む為に必要な基礎や技術と心構えなどをしっかり皆さんに伝えたいと思います。私はいま大阪の浪速中学、高校で皆さんと同じ年代の子供達を指導しています。その前は皆さんと同じ道場や空手スクールに通う子供たちに指導をしていました。國分先生とは20年前日本代表チームでご一緒したご縁で大阪のフィットネスクラブの空手教室で指導をする仕事をさせてもらっていました。その時の指導経験が今でもすごく役に立っています。そしていま国内で高校の大会で５連覇し、国際大会でもコーチとして活動させてもらっています。そういう活動の中で得た情報は最新であり、勝利を目指している競技者や指導者が試合に臨む祭にとても大切で重要な情報です。海外のルールや運用が数年経って日本国内に反映されるからです。日本国内で勝つ為には海外の新ルールや技のトレンドをいち早く理解して新しいルールや実際の運用の傾向に合わせて国内導入前から練習することが必要なのです。そういう状況があるということは国内指導者も知っていますが実際にそのような状況に合わせて取り組んでいるところは少ないことからわかるように、知っていることと理解して対応することは全く違うのです。今日のセミナーでは生徒の方々や保護者の皆様からあがるご質問など私の知りうる限りの知識、経験、情報についてお話ししたいと考えています。ぜひ今回のセミナーを活かしてご自分のレベルをステップアップする為に役立てていただければ幸いです。また、このような場を設けていただいた日本空手機構の皆様に御礼申し上げます。

JAPAN

JKF

KARATE

2017年度
育成セミナー

進学に空手を活かす方法や
情報を知っていますか？

最高峰にたどり着く情報や技術
思考の全てを提供したい

最高の競技空手が
ここにある！

育成セミナー詳細お問い合わせは
日本空手機構のホームページへ